

にしてつグループの企業理念

にしてつグループは、「出逢いをつくり、期待をはこぶ」事業を通して、「あんしん」と「かいてき」と「ときめき」を提供しつづけ、地域とともに歩み、ともに発展します。

ごあいさつ

株主の皆さまには、当社事業につきまして、平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

「にしてつレポート2019 WINTER」をお届けするにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

当上半期における当社グループは、本年策定した第15次中期経営計画の達成に向け、各事業において積極的な営業活動を行うとともに、経営の効率化を推進し、業績の向上につとめた結果、成績は別掲のとおりとなりました。

これも、ひとえに株主の皆さまの温かいご支援の賜と厚くお礼申し上げます。

さて、本年5月1日より元号が「令和」となりました。出典は万葉集、その舞台は福岡・太宰府であると言われております。

太宰府は当社にとりましてもゆかりのある土地であり、また、太宰府観光列車「旅人」の運行や太宰府駅のリニューアル等、従前より地域と協働し活性化に取り組んできた地域でもあります。

本年も、引き続き太宰府のブランド力向上や更なるにぎわいの創出を目指し、太宰府天満宮周辺の古民家を、歴史ある佇まいはそのままにリノベートした古民家宿泊施設「HOTEL CULTIA 太宰府」の営業に参画いたしました。

また、即位礼正殿の儀が執り行われた10月22日より、「梅花の宴」の舞台となった大伴旅人邸跡との説もある坂本八幡宮の最寄り駅、都府楼前駅の副駅名を「令和の里」といたしました。

新元号発表以来、太宰府が「令和」ゆかりの地として注目されていることは、当社グループにとりましても喜ばしいことです。

当社グループは、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという「令和」に込められた思いとともに、今後も事業活動を行ってまいります。

株主の皆さまにおかれましても、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

代表取締役社長執行役員 倉富純男

